

平成28年度 事業報告

1 船舶等の航行安全に関する事業

(1) 航行安全のための啓発活動及び安全パトロール

① 浜名湖安全パトロール

浜名湖におけるレジャー船の航行安全の啓発（利用者のマナーの向上・違反者に対する指導）及び通航届出制度の周知徹底を図るため、安全対策部会を中心として、安全パトロールを実施した。

安全対策部会では、パトロールの実施方法、実施結果の検討・協議を行った。

ア 実施期間 ・7月10日～8月28日の間の計17日間
・10月1日、2日、9日の計3日間 合計20日間

イ 参加人員 延べ109人

ウ 参加団体 15団体

エ 指導件数 217件

指導内容

1 水路内での釣り	93件
2 今切口での釣り	50件
3 区域外遊走	41件
4 海水浴場付近での遊走	9件
5 水上バイクのマナー	6件
6 ライフジャケット未着用	5件
7 その他	13件
(通航届未提出、水路杭への係留等)	

オ 安全対策部会 6月21日に開催

② 安全講習

浜名湖における航行安全の啓発を図るため、通航届出者を対象に、通航届出受付窓口58か所において航行安全講習を実施した。

③ 航行安全啓発資料の作成・配布

浜名湖における船舶等の安全の確保・水域の適正な利用を図るため、次のとおり啓発資料の作成・配布を行った。

ア 財団機関誌「ルールとマナー」 5,000部

イ 安全航行啓発チラシ 5,000部

ウ 安全啓発ポスター	210 枚
エ 安全航行資料（浜名湖のみちしるべ）	6,000 部

（2）航行安全施設等の設置維持管理

① 航行案内標識等の設置維持管理

浜名湖における船舶の事故防止のため水路標識杭や航行安全看板等を設置している。

平成 28 年度は、経年劣化が進んだ水路標識杭 18 本の補修を行った。

また、計画的な維持管理を行うため、水路標識杭等の現況調査を行った。

補修した水路標識杭の内訳は、以下のとおりである。

<補修>

・中央水路	4 番、11 番、13 番、22 番、30 番、34 番
・新場水路	6 番(旧 7 番)、7 番(旧 8 番)
・1 号水路	10 番、11 番、12 番、14 番
・鷺津水路	9 番、10 番、11 番、12 番、13 番、14 番

② 遊走制限水域表示ブイの維持管理

県河川管理条例により遊走行為が禁止されている細江湖及び猪鼻湖において、7 月～9 月の土曜日及び日曜日に限り遊走制限水域を一部解放することから、この水域を示すブイ 20 個（細江湖 12 個、猪鼻湖 8 個）の揚降管理を行った。

（3）船艇の登録

① 通航届出済証の交付事務

県からの受託事務として、浜名湖を航行する発動機付船舶所有者からの通航届出の受付及び県浜松土木事務所への進達並びに届出者に対する通航届出済証の交付を行った。

対 象 期 間	通航届出受付件数	通航届出済証交付件数
平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	1,739	1,739
うち新規	164	164

② 船艇登録台帳の整備及び通航届出番号の発行

浜名湖の航行安全と適正な係留を図るため、通航届出に基づき船艇登録台帳を整備するとともに、「通航届出番号」（ステッカー）を発行した。

③ 船艇登録パトロールの実施

県条例による通航届出制度（船艇登録制度）の周知徹底を図るため、公共係留施設に係留中の「通航届出番号」不貼付の船舶に対し登録警告書を貼付した。また、当財団の係留施設内に無断係留している船舶の調査も併せて実施した。

実施期間 11月4日～11月7日 延べ4日間
警告書貼付船艇 866隻

2 公共係留施設の管理運営に関する事業

(1) 湖面の適正利用の促進

湖面の一層の適正利用を図るため、水域管理者（県・浜松市・湖西市）が実施する放置艇対策に協力し、不法係留船・放置艇の調査（パトロール）、指導、撤去を行った。

・調査（パトロール） 6回 ・指導、撤去 5回

(2) 公共マリーナの管理運営

放置艇を解消するため、県及び市町が整備した公共係留施設に財団が船舶係留施設を整備し、その施設の管理運営を行っている。

平成28年度は、三ヶ日公共マリーナに、水難事故や災害時等の救急搬送に対応可能な防災栈橋を新設した。

そのほか、入出公共マリーナ内の船揚場及び一時係留栈橋の周辺を中心とした箇所が極端に浅くなり、船舶の航行や係留に支障を来たしていたため、県と協同で浚渫を実施した。

契約隻数：公共マリーナ7か所 1,580隻、公共係留施設17か所 675隻
計 2,255隻（H29.4.1現在）

①宇布見公共マリーナ（通称 ユーテラス）

区分	規模	備考
①浮栈橋係留	251隻	
浮栈橋	3基 L= 348.8 m	
係留杭	771本	
工事費	93,793千円	財団施工 平成11年4月完成
②護岸係留	221隻	
係留杭	685本	
工事費	16,681千円	財団施工 平成11年5月完成

③収容隻数合計	472 隻	契約隻数 433 隻
係留杭合計	1,456 本	
工事費合計	110,474 千円	外部工事 県施工 1,027,000 千円
④駐車場収容台数	191 台	

②入出公共マリーナ(通称 コデマリン)

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	210 隻	契約隻数 176 隻
係留方式	Yブーム方式	
浮棧橋	3基 L=323.8 m	財団施工 平成 12 年 4 月完成
工事費	117,873 千円	外部工事 県施工 401,000 千円
②駐車場収容台数	83 台	

③伊目公共マリーナ(通称 マリーナ唐洲崎)

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	280 隻	契約隻数 232 隻
係留方式	Yブーム方式	
浮棧橋	4基 L= 404.4 m	財団施工 平成 16 年 3 月完成
工事費	153,300 千円	外部工事 県施工 1,301,000 千円
②駐車場収容台数	80 台	

④三ヶ日公共マリーナ(通称 オレンジマリーナ)

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	130 隻	契約隻数 100 隻
係留方式	Yブーム方式	
浮棧橋	2 基 L= 190.4 m	財団施工 平成 20 年 3 月完成
工事費	79,060 千円	外部工事 県施工 862,000 千円
②駐車場収容台数	98 台	

⑤伊佐地川公共マリーナ

区 分	規 模	備 考
①護岸係留	120 隻	契約隻数 73 隻
係留杭	247 本	財団施工 平成 20 年 12 月完成
工事費	31,542 千円	外部工事 県施工 1,035,000 千円
②駐車場収容台数	94 台	

⑥伊佐見公共マリーナ(通称 はまゆうマリーナ)

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	400 隻	契約隻数 373 隻
係留方式	Yブーム方式	
浮 棧 橋	9基L=609m	財団施工 平成 23 年 3 月完成
工 事 費	271,028 千円	外部工事 県施工 1,400,000 千円
②駐車場収容台数	122 台	

⑦浜名公共マリーナ

区 分	規 模	備 考
①浮棧橋係留	200 隻	契約隻数 193 隻
係 留 杭	406 本	
工 事 費	155,400 千円	財団施工 平成 23 年 3 月完成
②駐車場収容台数	20 台	

◎公共マリーナ施設利用料金 (H29.4.1 現在)

船 長	県内在住者(年額)	県外在住者(年額)
6m以下	85,320 円	102,600 円
6m超 8m以下	122,040 円	145,800 円

⑧公共係留施設

区 分	規 模	備 考
箇 所 数	17 か所	
護岸係留	923 隻	契約隻数 675 隻
係 留 杭	2,921 本	
工 事 費	515,670 千円	財団施工 平成 11 年度～17 年度完成

◎公共係留施設利用料金

(H29.4.1 現在)

区 分	船 長	県内在住者(年額)	県外在住者(年額)
公共係留施設A	6m以下	72,360 円	86,400 円
	6m超 8m以下	92,880 円	111,240 円
公共係留施設B	6m以下	56,160 円	66,960 円
	6m超 8m以下	72,360 円	86,400 円

(3) 舞阪 PBS の管理運営

県が整備した浜名港プレジャーボート係留施設(舞阪PBS)について、平成 27 年度から指定管理者としての管理運営を開始した。

① 指定期間

平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで(5年間)

② 指定管理者の業務

ア 使用許可及びその取消しに関すること。

イ 利用料金の徴収に関すること。

ウ 維持管理に関すること。

エ その他県又は財団が必要と認めること。

③ 防犯灯の設置

防犯効果及び利用者の利便性の向上を図るため、係船施設内に防犯灯を1基設置した。

④ 係留施設の概要

(H29.4.1 現在)

区 分	延 長	規 模	工 期	整備費	契約隻数
蓬萊園 A	L = 352 m	113 隻	H 4~H12	439,500 円	65 隻
乙女園 B	L = 370 m	113 隻	H12~H15	306,100 円	94 隻
観月園 C	L = 430 m	140 隻	H19~H22	343,900 円	104 隻
千鳥園 D	L = 465 m	143 隻	H20~H21	360,782 円	85 隻
千鳥園北 E	L = 373 m	101 隻	H22~H24	350,045 円	63 隻
計	L=1,990m	610 隻		1,800,327 円	411 隻

◎PBS 利用料金

(H29.4.1 現在)

管理区分	船長	条件	県内在住者(年額)	県外在住者(年額)
指定管理	6m以下	1種	62,640円	74,520円
		2種	125,280円	150,120円
	6m超 8m以下	1種	93,960円	112,320円
		2種	187,920円	225,720円

※ 利用料金は県条例の範囲内で指定管理者が定める。ただし、あらかじめ県の承認が必要

※ 1種艇とは2種艇以外のプレジャーボート

※ 2種艇とは船幅2.3m以上かつ投影面積(船長×船幅)が13㎡以上のプレジャーボート

(4) 公共マリーナ等への新規係留艇受入れ

公共係留施設の受入れは平成12年当時の不法係留船に限定してきたが、平成24年12月に静岡県知事より、それ以後の不法係留船及び新規購入の船舶の受入れについても公益事業の対象になると認められたため、海洋性レジャーの振興促進と新たな不法係留船の防止対策として、平成25年度から新規係留艇の募集を開始した。

平成28年度は、60隻(舞阪PBSの13隻含む)の募集に対して93隻の応募があり、最終的に52隻を新規係留艇として受け入れた。

・募集期間 平成28年6月3日～6月30日

・募集隻数 60隻

公共マリーナ名等	募集隻数	契約等隻数
浜名	5隻	4隻
入出	9隻	8隻
伊目	8隻	7隻
三ヶ日	8隻	6隻
伊佐地川	7隻	6隻
伊佐見	10隻	10隻
舞阪PBS	13隻	11隻
計	60隻	52隻

3 その他目的を達成するために必要な事業

(1) 会議の開催及び各種会議への出席

① 財団の会議

財団の事業を推進するため、会議を開催した。

ア 理事会・評議員会・監査

開催日	区分	議 事 等	会 場
5月11日	監査	平成27年度事業報告・収支決算監査	静岡銀行ほか
5月25日	理事会	平成27年度事業報告・収支決算報告 規程の改正 評議員会の招集	浜松総合庁舎
6月16日	評議員会	平成27年度事業報告・収支決算報告 規程の改正 評議員、理事の選任	〃
3月17日	理事会	評議員会の招集	書面決議
3月24日	評議員会	評議員、理事の選任	〃
3月27日	理事会	規程の制定 平成28年度補正予算 平成29年度事業計画・当初予算案 資金調達及び設備投資の見込み 資金運用計画 専務理事の選定	浜松総合庁舎

イ 運営委員会

開催日	部会名	議 事 等	会 場
5月19日	企画運営委員会	平成27年度事業報告・収支決算報告 規程の改正	浜松総合庁舎
6月21日	安全対策部会	浜名湖安全パトロールの実施方法	〃
3月17日	企画運営委員会	規程の制定 平成28年度補正予算 平成29年度事業計画・当初予算案 資金調達及び設備投資の見込み 資金運用計画	〃

② 係船対策会議

係船施設の整備促進及び取扱い等のため、関係機関と打合せを行った。

開催日	会議名	主催及び参加機関等	会 場
2月23日	浜名湖水域利用推進調整会議幹事会	県浜松土木事務所、県河川砂防管理課、県港湾企画課、浜松市、湖西市ほか	浜松総合庁舎

③ 各種会議

浜名湖の環境整備と秩序ある利用を図るため、関係機関及び関係団体が主催する会議に出席した。

開催日	会議名等	主催	会場
5月27日	静岡県マリナー協会西部支部会議	静岡県マリナー協会西部支部	スズキマリナー浜名湖
7月5日	プレジャーボート対策研究会	日本マリナー・ビーチ協会	東京海事センター
10月13日 ～14日	マリナー視察研修会	日本マリナー・ビーチ協会	北海道
1月8日	静岡県マリナー協会西部支部会議	静岡県マリナー協会西部支部	呉竹荘
1月17日	中部地域プレジャーボート対策連絡会議	国土交通省中部運輸局	名古屋合同庁舎
2月3日	静岡県マリナー協会総会	静岡県マリナー協会	ホテルアシア静岡
2月22日	静岡県海面利用協議会	県経済産業部水産資源課	静岡県庁
2月21日	プレジャーボート対策研究会	日本マリナー・ビーチ協会	東京海事センター
3月2日	BAN 全体会議	日本海洋レジャー安全・振興協会	メルパルク横浜

(2) 地元各種行事への協力参加

財団パトロール艇を活用して、各種行事等における安全指導や協力参加を通じて、湖面の事故防止及び安全確保に努めた。

開催日	内 容	会 場
6月17日	浜松市消防局、静岡県マリナー協会等合同水難救助訓練の警備	三ヶ日公共マリナー猪鼻湖
6月24日	湖西市消防本部、静岡県マリナー協会等合同水難救助訓練の警備	湖西市新居町新居(向島)

(3) 財団設立 25 周年記念事業

設立 25 周年を記念して記念式典を開催し、記念誌を作成した。

日付	項 目	内 容
5月27日	記念誌の作成	名称：25年のあゆみ 作成部数：1,000部
6月2日	記念式典の開催	会場：伊佐見公共マリナー 参加者：静岡県知事、国土交通省中部運輸局長、湖西市長ほか90名 内容：式典及び功労表彰